

令和7年度 第1回 喜多方市DX推進協議会 (会議録)

■日時

令和7年7月15日(火) 午後1時30分～午後3時

■場所

喜多方市役所 ホール棟2階 大会議室

■出欠

1 出席委員(11名)

鈴木崇正委員、村上将臣委員、山中宏行委員、高橋哲夫委員、
渡部孝一委員、佐藤健太郎委員、結城友次委員、和田典久委員、山口稔委員、
岩城雅仁委員、物江光一委員

2 欠席委員(5名)

高樋昌委員、大西尚和委員、齋藤使徒委員、渡部正一委員、五十嵐千春委員

3 市出席者

(市長) 遠藤忠一、(企画政策部長) 小荒井浩、(企画調整課長) 伊藤博之、
(企画調整課長補佐) 藤井慎一、(企画調整課DX推進係長) 五十嵐司
(企画調整課主査) 湯上孝弘、(企画調整課副主査) 高橋美樹

■次第

1 開 会

2 委嘱状交付

渡部嘉和委員の後任である高橋哲夫委員、岩田悠二郎委員の後任である佐藤健太郎委員、鶴巻貴司委員の後任である結城友次委員に対し交付した。

3 市長挨拶

4 出席者紹介

5 会長挨拶

6 諮 問

7 議 事

(1) 報告事項「昨年度いただいた意見と対応状況」

(2) 協議事項「第3期 喜多方市DX推進実施計画について」

※「議事録」のとおり。

8 そ の 他

9 閉 会

■議事録

議事 (1)報告事項「昨年度いただいた意見と対応状況」

※ 事務局が「会議資料」のうち、「【資料1】昨年度いただいた意見と対応状況」を説明。

【質疑】

なし

議事 (2)協議事項「第3期 喜多方市DX推進実施計画について」

※ 事務局が「【資料2】第3期 喜多方市DX推進実施計画」のうち、基本方針1を説明。

【質疑】

(A委員)

マイナンバーカード交付の受取について、健常者には簡単なのですが、受取が本人でなければならず、入院している方や、施設入所の方、寝たきりの方については難しいと感じます。入院している家族のマイナンバーカードの受取について問い合わせたところ、送ってくることはできないか、介護タクシーで来られないか等と言われ、最終的には写真と病院の証明が必要とのことでそのように対応しました。そこまでやらないとならないのでしょうか。マイナンバーカードを提示することで家族であることを確認し受取できる等、そういった形で簡素化できないのでしょうか。ご検討いただきたいです。

(事務局)

もともとだと思います。これは全国的な国の決まりであります、市町村にも時折意見を述べる機会がありますので、国に訴えていきたいと思います。

(A委員)

喜多方市だけではないと思いますので、問題として提起していただきたく思います。

(B委員)

市関係の事業にいくつか関わっており、財政状況が厳しいと聞いております。積極的にDXを推進している状況であります、今後、取捨選択が喫緊の課題となります。そこで、今後計画を推進していく上でも、具体的に整理することになった場合、効果とともに示していただき、我々も意見を述べていきたいと思っておりますので、お願いします。

(事務局)

まさに取捨選択していかなければならない状況となってきておりますので、市民の方の意見も取り入れ、反映していければと思います。

(C委員)

施設予約について、現在一部の体育館は利用できますが、一部体育館は利用できません。

そのあたりはどのような考えをもってオンライン予約を利用できるようにしていくのでしょうか。

(事務局)

体育施設についてはすべて同じ管理方法ではなく、指定管理としてふるさと振興株式会社や体育協会にお願いしていたり、直営であったりしますので、管理方法やお金の流れが異なります。指定管理者が管理している施設については指定管理者のもとにお金が入りますので、自動化ツールを同じように適用することが難しい状況です。また予約状況確認ツールも本庁と支所で異なる等、人手ややり方が異なり適用できないところもあります。我々も悩んでいる部分ですが、統一化、電子化が進むよう努力していきたいと思います。

(D委員)

事業No.1 コンビニ交付サービスの実施、事業No.2 地方税電子申告等事務におけるeLTAXの活用、事業No.10 らくらく窓口サービス税金について、証明書等の総発行件数、コンビニでの発行件数の割合、らくらく窓口での発行件数の割合を次回でも良いのでお示しいただきたいです。

また、財政健全化の話がありましたが、事業No.6のキャッシュレス化すると手数料が発生します。押し進めると首をしめることになることも想定されるため、検討いただければと思います。

(事務局)

証明書等発行の全体件数については、次回以降記載するよう改善します。市民課の証明書については、コンビニ交付やらくらく窓口サービスを始めた当初は5%程度でしたが、現在20%程度となっております。

キャッシュレス化に伴う手数料についてですが、ご指摘のとおりであり3.5~5%程度かかります。そのため税務課に導入する際には税収が減ってしまうのではないかとネックになりました。指定管理施設であれば指定管理者の収入が減ってしまう、所管課で新たな予算が必要になる等の課題があります。

(E委員)

私達の職場は高齢者に対応する機会が多いのですが、事業No.5 AI オンデマンド交通システムの申込方法拡充について、LINE アプリ導入したのは良いのですが、電話での予約が多いとも聞いております。そのあたりの割合の数値も後で示していただきたく思います。

(事務局)

こちらについても、次回までにお示しします。

(F委員)

事業No.5 AI オンデマンド交通システムの予約方法拡充について、LINE アプリを導入

したとありますが、導入後、結果どの程度利用されているのか気になっております。その検証の数値、KPI といいますか、見えるようにしてほしいです。

また、事業No. 11 オープンデータ活用とのことで、今後の公開データ拡大とありますが、こういったものが公開されていくのでしょうか。

(事務局)

令和6年度は記載のとおりであり、人口や統計きたかたのデータ、Wi-Fi の施設数のデータを公開しています。今後については、庁内に広く呼び掛けるなど、各所属に対して働きかけ拡大していきたいと考えています。

※ 事務局が「【資料2】第3期 喜多方市DX推進実施計画」のうち、基本方針2を説明。

【質疑】

(E委員)

事業No. 16 タブレット等活用による業務効率化ですが、ペーパーレス化、タブレットによる業務効率化として、議会等で執行部側もタブレットを使用できれば、データ等をその場で見られてスムーズになると思いますので検討されてはいかがでしょうか。

(事務局)

議員には1人1台タブレットを貸与しており資料が見られるのですが、市職員側は設備が整っていない等により実施できておりません。来週、議場における職員のタブレット機器利用について総務課や議会事務局と打ち合わせを行う予定であり、検討を進めているところです。

(G委員)

事業No. 19 職員研修の実施について、ご質問と意見なのですが、職員のリテラシー向上、デジタル人材の育成はスピード感をもってやっていく必要があると考えます。

そこで、職員の皆様が専門スキルを身に着けるのに取得支援、外部研修に派遣する仕組みは持っているのでしょうか。

また、実施計画の中で、研修を実施しましたというものがありますが、一般的なスキルを持っている職員、または全く持っていない職員向けの研修なのでしょうか。職員のスキルレベルに応じた研修体系を整備されているのかも教えてください。

(事務局)

IT パスポートなどは、公金ではないのですが、互助会に申請すると一定額支給があります。研修のレベルは、市の職員でもスキルレベルに差異があるため、内部の研修であまり難しいものは実施できない状況です。それ以上のものは国の組織の方でオンライン研修が充実しており、また自治研修センターで受講する研修等、種類は豊富にあります。

(B委員)

生成 AI の利用について、諸外国は 80%の利用となっているようですが日本では 50%を切っている状況と聞いております。このような場合、やはり上の方が方針をどう示されるか、どの生成 AI なら安心なのか、方針を決めないと、利用した後で問題になる可能性もあり、職員も手を出しづらいのではないのでしょうか。今後どのような生成 AI の利用をするのか方針をお示してください。

(事務局)

生成 AI は急速に普及しており、自治体業務でも様々な自治体で使われております。喜多方市でも一部使用は認めていますが、まだまだ使いこなせていない、周知が甘いと言われており、スキル向上と展開を図っていかなければならないと考えております。

※ 事務局が「【資料 2】第 3 期 喜多方市 DX 推進実施計画」のうち基本方針 3(1)を説明。

【質疑】

(A委員)

事業 No. 32 画像投稿システムの運用、これは本当に対応が必要なものなののでしょうか。本当に軽微なものでも投稿してしまったなどはないのでしょうか。

(事務局)

投稿いただいた中には軽微なもの、市が修繕するものではないものも含まれておりますが、修繕不要、他の機関につなぐ等投稿システムに表示するようになっており、すべてを市が修繕しているわけではありません。報告するほどのものでもない事例も含まれているかと思いますが、しかし以前に比べると道路状況が良くなったとも聞いております。

(A委員)

このようなシステムがあるので、何でもかんでも投稿してしまえ、等という声も聞いたことがあるため、どれくらい有効なのか確認でした。

(B委員)

基本方針 3 以降、令和 7 年度以降について継続実施という記述が多くあります。そうした場合、ある程度実現できたので今後も継続して進めていきたいという気持ちはわかるのですが、その仕事が終わったとの理解ではなく、今のお話にもあったように、件数がどう展開するのか、実際に道路がよくなったのか、きちんととらえておく必要があると思います。すべての事業について細かく分析するのは至難の業なので、主要なものをご選択いただいて、ご指摘にあったようにフォローしていくことができるようにしていただければと思います。

(事務局)

これで終わりということではなく、効果を確かめて進んでいくことが必要だと思いますので、まとめ資料等を今後提供していきたいと考えております。

※ 事務局が「【資料2】第3期 喜多方市DX推進実施計画」のうち基本方針3(2)を説明。

【質疑】

(H委員)

キャッシュレス推進について、今回の事業が終わったばかりですが、今後このような施策を実施することがあれば、事業所の換金手数料のケアを提案します。今回のポイント還元キャンペーンでは、市外の方も来ていただけたと聞いておりますが、普段現金のお客さんもキャッシュレスで買い物したようであり、それはそれで、事業目的を達成してはいるのですが、事業者としては換金手数料が増えており、民間企業でも物価高、税額アップのリカバーが大変な状況です。換金手数料のケアもしていただければと思います。法人税、市民税の課税非課税の境界ぎりぎりの事業所もあり、その点ケアしていただければ。経営者本人だけではなく、従業員や関係企業、その家族等にも波及効果もあると思いますので、考えていただきたいです。

(事務局)

商工観光のほうに、要望事項としてお伝えさせていただきます。

(E委員)

事業 No.44 キャッシュレス化の推進、事業は大変好評であったと感じておりますので、今後事業検証もしっかりやっていただきたいと思います。最初に会長からの挨拶にもあったように、市民の誰もがDXの恩恵を受けられるように、高齢者がどの程度恩恵を受けられたか、年齢層はどのあたりであったか、高齢者対応をどのようにしていくのか、考え方があればお願いします。磐梯町も進んでやっているの、その辺りの情報もあれば教えてくださいたいです。

(事務局)

どのくらいの年齢層の方が使われたのか、そういったデータについても商工観光課に問い合わせをし、次回ご回答したいと思います。

また、磐梯町はDXが進んでおり、ぼんだいコインがある等把握しております。地域通貨については会津若松の会津コイン、ぼんだいコイン、会津大のByaccoの他、西会津もなにかやっており、会津でも群雄割拠の状況です。まず庁内向けの勉強会を会津コインの運営会社をお願いする予定です。今後検討していきたいと思います。

(E委員)

進めるのも良いのですが、高齢者へのサポート、シニアへの対応も行っていただきたいと思います。

(事務局)

事業は様々ありますが、やはり高齢者へのサポート、支援も大変重要であると考えております。今回の事業の検証については、担当課でアンケート等により進めており、使われた方の年代、市外・市内等の分析もできる範囲で行っています。今回の取り組みはどうだったのか、どうすればよかったか、次回以降の取り組みについて、各課とも情報共有しながら進めていきたいと思っておりますので、皆様もご意見等あればよろしく申し上げます。

※ 事務局が「【資料2】第3期 喜多方市DX推進実施計画」のうち基本方針 共通を説明。

【質疑】

なし